

西暦 2024 年 1 月 29 日

重度精神疾患標準的治療法確立事業のデータの利活用に関する研究事業 研究経過報告書

重度精神疾患標準的治療法確立事業のデータの利活用に関する研究事業
研究利活用委員会 委員長殿

所属医療機関 国立精神・神経医療研究センター病院

申請者 柏木 宏子

重度精神疾患標準的治療法確立事業（医療観察法データベース事業）において収集されたデータを用いて行う研究について、

- 継続中につき、経過を報告します。
- 終了したので、結果を報告します（終了後の成果報告の予定 あり なし）。
- 終了後に成果を公表したので、報告します。

申請 番号	MTSA-006	研究 課題名	触法精神障害者に対する向精神薬処方に関する研究
研究結果（経過）： 医療観察法における対象者の向精神薬処方内容を探るために、研究を実施した。2019 年 9 月～2021 年 12 月に医療観察法病棟を退院した統合失調圏の患者の約 25%にクロザピンが処方されていたこと、約 26%に持効性注射剤が投与されていたことが明らかとなった。また、クロザピン処方患者の約半数が医療観察法病棟入院中に隔離を経験しており、非クロザピン投与患者と比較して医療観察法病棟入院期間が長かった。今後、さらに解析を進め、学会発表、論文等で報告する。			
上記公開に際しての希望： <input checked="" type="checkbox"/> すぐに公開してよい。 <input type="checkbox"/> 年 月以降に公開してよい。 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
研究利活用委員会に未報告の研究成果公表実績（学会発表、論文など）： 令和 4 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業（精神障害分野））医療観察法における専門的医療の向上と普及に資する研究 分担研究報告書 指定入院医療機関退院後の予後に関する全国調査			

※事務局記入欄

初回申請	2022 年 9 月 14 日	初回承認	2022 年 12 月 16 日
------	-----------------	------	------------------